

平成29年度

長幌上水道企業団水道施設整備事業評価委員会

第 1 回 委 員 会
会 議 録

平成29年6月28日（水）

長幌上水道企業団 1階事務所

平成29年度長幌上水道企業団水道施設整備事業評価委員会

日 時 平成29年6月28日（水）午前9時30分～午前11時30分

場 所 長幌上水道企業団 1階会議室

長幌上水道企業団 第2浄水場

水質実験施設 4棟

出席者 委員 5名

多田良一委員

廣岡雅浩委員

佐々木啓二委員

内田一之委員

三歩幸光委員

長幌上水道企業団 5名

企業長

企業局長

施設課長

総務課長

施設課主幹

目 次

1	委 嘱 状 交 付	1
2	開 会	2
3	企 業 長 挨 拶	3
4	委 員 紹 介	3
5	委 員 長 選 出	3
6	委 員 長 挨 拶	5
7	評 価 内 容 説 明	5
8	今 後 の 日 程	8
9	第 2 浄 水 場 視 察	9
10	閉 会	10

1 委嘱状交付

○ 企業長

委員5名に委嘱状の交付を行う。

2 開 会

○ 企業局長

開会宣言

3 企業長挨拶

○ 企業長

挨拶の概要

長幌上水道企業団設立の経緯及び第2浄水場更新理由並びに議会への説明経緯の概要、第2浄水場実験業者及び処理方式決定時期の説明、評価委員会設立の目的理由を挨拶のなかで説明。

4 委員紹介

○ 企業局長

5名の委員の略歴紹介。

5 委員長選出

○ 企業局長

資料番号6の要綱に基づき、委員長が決定するまで仮委員長として企業長が進行を行う。

○ 企業長

資料番号6に基づき、委員の方々により委員長及び副委員長の互選を提案
願う。

○ 廣岡委員

初対面であるので、事務局に一任したい。

○ 企業長

廣岡委員の意見を委員に諮り賛同の確認。

○ 委員一同

異議なし。

○ 企業長

委員長に佐々木委員を指名し、委員より合意を得る。

○ 企業長

副委員長の互選を提案。

○ 廣岡委員

事務局に一任する。

○ 企業長

廣岡委員の意見に対し、委員に諮り賛同の確認。

○ 委員一同

異議なし。

○ 企業長

副委員長に多田委員を指名し、合意を得る。

6 委員長挨拶

○ 佐々木委員長

席移動後に挨拶。

7 評価内容の説明

○ 佐々木委員長

評価内容について、事務局に説明を求める。

○ 施設課長

資料2～5までを説明。

○ 佐々木委員長

評価内容についての質疑の確認。

○ 多田副委員長

資料番号3の2の表の下段に赤字で記載している、南幌町の給水予測水量について説明を再度お願いします。

○ 施設課長

第1浄水場の浄水量 $5,460\text{ m}^3$ のうち南幌町に配水できる水量 $1,800\text{ m}^3$ と第2浄水場の浄水量 $5,460\text{ m}^3$ を合算すると $7,260\text{ m}^3$ の浄水量となるが、将来の人口予測に基づいた給水量だと $4,300\text{ m}^3$ から $4,800\text{ m}^3/\text{日}$ の使用量と想定して

いるので、更新する第2浄水場は2,500 m³から3,000 m³、2,800 m³の浄水場の規模で更新予定と考えている。

○ 多田副委員長

了知しました。

○ 企業長

補足で給水量4600に対し、南幌町10,000人想定なので4,600 m³/日としている。更新する場合2,800 m³/日という施設規模が無いので、2,500～3,000 m³/日のどちらが良いか金額面も含め検討を行い、議会には2,500 m³/日で報告している。

○ 内田委員

数値的には理解したが、両町の人口が22,000人を想定しているが、両町の総合計画に則った数値と理解して宜しいか。

○ 企業長

基本的には、総合計画の人口ベースで計画している中で、人口は将来減少していくと予測しているが、将来人口減少のみを見込んだ浄水規模だと現在の人口に対しての影響もあるので、現在の人口に影響がない最低限の規模と捉えて頂きたい。

○ 内田委員

現在の人口規模と理解して良いか。

○ 企業長

今現在の建替えは南幌町として 4,300 m³/日の供給量が必要となってくるが、これから 20 年後、40 年後の規模を想定して縮小してしまうと現在住んでいる住民の供給に影響がある。

○ 内田委員

もし、人口が増になった場合などは想定しているのか。人口が増えるという想定も考えられるのではないか。

○ 企業長

相対的な供給水量としては、4,300 m³/日として算定しているが、現在、南幌町に第 1 浄水場へ供給できる水量 1,800 m³があるが、現在の実績は 200 m³程度しか配水されていない。新第 2 浄水場からの配水量として 2,300 m³で併せて 2,500 m³の供給ベースで行っているが、ぎりぎりの浄水施設だと供給できなくなるので、基本的にはベース 100 に対して 7 割程度が通常の供給量に対して 3 割程度は余裕を持たすのが全国的な考えである。

○ 内田委員

想定としての人口に対して 7 割という状況のなかでプラス 3 割は見込んでいる設定で宜しいか。

○ 企業長

3 割程度の余裕は見込んでいる。

○ 佐々木委員長

想定される人口に対して 4,300 m³/日は余裕のある水量なのかを確認。

○ 企業長

まだ南幌工業団地も未誘致箇所もあり、住宅団地も未分譲箇所もあるが、総合計画の中でも未誘致の解消及び分譲販売を促進するが、全国的に人口減少となっているが、南幌町の総合計画によって伸ばしていく考えをもっているため、各団地が埋った場合でも余裕を持った水量を確保している。

○ 内田委員

想定水量 10,120 m³としているが、長沼町も含め今現在供給している全体水量の実績は。

○ 企業長

資料 3 の 2 の表内の 1 日最大給水量で説明。

○ 内田委員

10,120 m³に対して 6,820 m³で約 7 割ということで、理解しました。

○ 佐々木委員長

ほかに質疑がないか確認。

○ 委員一同

なし。

8 今後の日程

○ 佐々木委員長

日程について、事務局に説明を求める。

○ 施設課長

資料4で説明。水処理実験の理由と業者数及び期間、実験終了後に処理方式を決定し、浄水場更新に伴う処理方式の認可変更を北海道を経過して国に対し、認可申請書及び評価書を11月頃までに提出したいと考えている。評価書提出前に、第2回の委員会を行い提出書類の審査をお願いしたい。

なお、浄水処理の決定時期及び認可変更の協議が前倒しとなれば、11月予定の第2回委員会の日程が10月頃に開催する可能性もある。

提出書類は、厚生労働省で審査後、意見が付され返送されるので、その事業評価書について、第3回の委員会で再度評価を行っていただき、厚生労働省に提出する。なお、第3回の委員会の時期は来年2月頃を予定し、4月に補助金内示、設計及び調査を行い事業を推進していく。

○ 佐々木委員長

日程内容について質疑の確認。

○ 委員一同

なし。

9 第2浄水場視察

○ 佐々木委員長

視察内容について、事務局に説明を求める。

○ 企業局長

第2浄水場説明及び敷地内で行っている実験プラントを視察する説明。

○ 施設課長

移動後、現況の第2浄水場及び実験プラントについて説明を行い、説明内容について質疑応答を行う。

10 閉会

○ 佐々木委員長

質疑がなければ本日の委員会を終了。

○ 委員一同

なし。

この会議録は長幌上水道企業団水道施設整備事業評価委員会の会議内容を
取りまとめたものである

平成29年6月28日

長幌上水道企業団水道施設整備事業評価委員会

委員長

佐々木 啓二 